

1. (3) ①5) 災害時における公園緑地の活用事例等に関する資料収集・整理業務

委託者：国土交通省国土技術政策総合研究所

1. 業務の概要

国土交通省では、南海トラフ巨大地震や首都直下地震等への備えの一つとして、避難地、復旧活動拠点、延焼遮断帯等の機能を有する公園緑地を活用した防災・減災対策に取り組んでいる。本業務は、公園緑地による防災・減災対策の検討に必要なデータとして、地震災害時における公園緑地の活用事例等について、資料収集・整理を行った。

なお、本業務については、別途実施された「防災公園計画設計ガイドライン検討調査」（1. (3) ①4）参照）の作業の進捗を踏まえつつ実施した。

2. 業務の内容

(1) 既往研究資料等の収集・整理

公園緑地の機能や効果の整理を行ったうえで、既往研究や地方公共団体等の公表資料を収集し、地震災害時における活用事例や課題など、公園緑地に関連する情報を整理した。対象とする5つの災害は、中越地震、中越沖地震、東日本大震災、首都直下地震、南海トラフ巨大地震とし、それ以外の災害でも補足的に事例を追加した。また、対象災害を幅広くとらえ、立地や発生した災害等による対象地域のタイプ区分を行い、効率的・効果的な情報収集を行った。

(2) 公園緑地に求められる要件の整理

(1) の情報をもとに、災害時に公園緑地が防災・減災機能を適切に発揮する上で求められる要件を、以下の観点ごとに整理した。

- i. 公園緑地の計画（広域的な交通ネットワークに配慮した配置計画等）
- ii. 公園緑地の設計（災害弱者も避難しやすい園路設計、適切な避難を促すデザイン等）
- iii. 公園緑地の管理運営（災害時における避難地や復旧・復興活動拠点等としての運営方法、平常時からの地域住民と連携した避難訓練、物資・エネルギーの備蓄等）

(3) 事例集の作成

(1) 及び(2)の結果を踏まえ、災害時における公園緑地の活用事例等に関する事例集を作成した。事例集は、20事例以上を対象に、1事例をA4・1枚に整理するものとした。整理する項目は、自然災害の概要、活用された公園緑地の防災・減災機能、事業段階毎において機能の発揮に重要と考えられる事項、情報の出典等とした。なお、事例集が参照しやすくなるよう見出しの整理と用語集の作成を行った。